

【エイワのブログ】印刷のプロ、永和印刷がサービス・技術の紹介や業界事情など最新の情報を発信していきます。印刷(Printing)のログ(Log)だからプログ(Prog)。PとRにはProfessionalとかProductといった意味も(単にPR誌だからという声も?)。創立60年を迎えるにあたり、社員一同、原点復帰の意味でお客様からの信頼を得られる仕事を心がけ、ご提案をさせていただきます。第1弾は校正ソフトの有効活用についてご紹介いたします。

2013年1月7日発行 vol.15 1月号

もっと、伝えます——永和印刷株式会社

## 謹賀新年



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては新年早々からつつがなく、力強くお仕事に注力されていることとお慶び申し上げます。

弊社はこの2013年の5月をもちまして創立60年を迎えます。これもお客様をはじめ関係各位のおかげと深く感謝を申し上げます。この節目において、弊社は「信頼」をスローガンに掲げました。

今年の永和印刷は「クレーム0(ゼロ)%、満足度100%」を目標に、お客様によりご満足していただけるための付加価値のあるサービスをご提供させていただくことで、お客様との強い信頼関係を築いていくことをお約束いたします。

拡大一途のスピード化・デジタル化による業務変革のなかでも、ご信頼いただくための真意を曇らせないよう、業務に努めてまいります。

代表取締役社長 久永康彦

## TOPICS 創立60年信頼プロジェクト 第1弾 校正ソフトの有効活用で編集サポート!!

### メリット

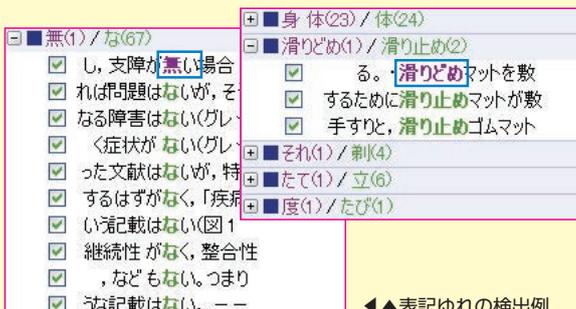
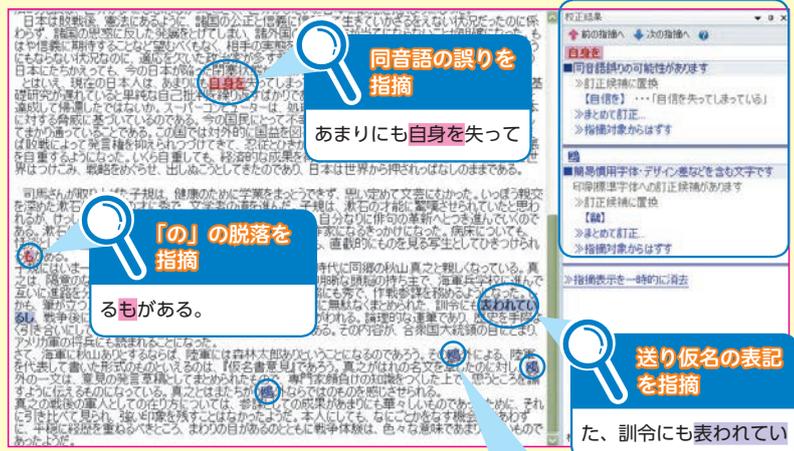
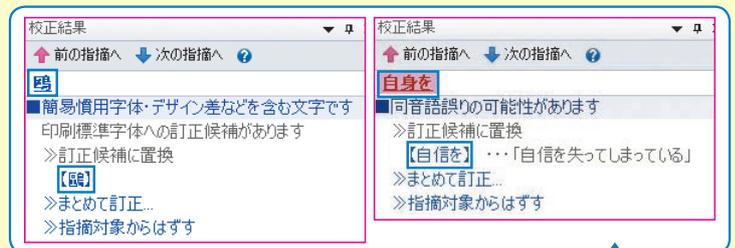
- 誤字脱字、仮名遣いの一般的な誤りをチェック!!
- 医療系の専門用語にも対応!!
- お客様の独自のルールに合わせて用字用語の統一!!
- 旧字体、送り仮名、商標・商品名の置き換え候補を提示!!
- 校正時間を短縮し、より密度の濃い原稿整理をご提供!!

もっとご信頼いただくために、創立60年信頼プロジェクトの第1弾としてご提案させていただくサービスは校正ソフトを有効的に活用した編集サポートです。

原稿整理から依頼された場合には、オリジナルデータの段階で校正ソフトを使用させていただきます。

念校段階では、データを一本化してチェックをさせていただきます。章や節レベルでは指摘されなかった全体としての表記ゆれ、赤字修正や校正段階で発生しうるスペルの記入・入力の間違いなどを検出いたします。検出内容はお客様にわかりやすくご提示し、ご確認をさせていただきます。

今後、実際のお仕事のなかで効果をご紹介させていただきますが、ご興味のある方はぜひ担当営業員にご連絡ください。



担当者はこんな人



小材 健

お正月といえばおもちですね。昨年末に近所の人とおもちつきを大々的にやりました。昔は町内の子供会でおもちつきは定番イベントでしたが、近頃はあまり見かけず、「最近の子はおもちつきをしたことがないだろう。よし、おじさんたちが手本を示し、喜ばしてあげよう!」と張り切って大活躍(なぜサンタ!?)まではよかったのですが……。翌日から寝返りのたびに激痛が走るわき腹の筋肉痛に1週間ほど悩まされました。その後、娘から「もっとおもちが食べたい」と要望されましたが、迷わず自動もちつき機のお世話になりました。とにかくおちはたくさん食べましたので、もっちり粘り強い(?)仕事を心がけます!!

calte.015

Dr. Hagiの  
デジタルクリニック  
DIGITAL CLINIC

印刷のお悩み  
ご相談ください

**特色をプロセスカラーに変換したときの色の違いはありますか?**  
Dr.Hagi: プロセスカラーを使ってできるだけ近い色に表現するので、特色によっては違いが大きくなります。DICの場合、「DIC color guide」(カラーチップ)の最後に解析値の一覧表があり、「\*」が付いているものは特に違いが大きいとされています。  
**アプリケーションでの自動変換は信用できる?**  
Dr.Hagi: アプリケーションによって変換数値に差があります。自動変換ではなく、公式の数値に変換することを推奨します。  
**濃度の薄い部分で、より色の差がでるのはなぜ?**  
Dr.Hagi: 特色は掛け合わせではない1版でできている色なので、50%の網点は単純に面積の半分になります。プロセス分解した50%はCMYKの版それぞれが分版した数値の半分の網点になるので、色がにごって見えたり浮いて見えたりするのです。

DIC157  
(イメージ)

DIC157  
50%

M100%  
Y95%

M50%  
Y47.5%

左の図の上段はDIC157(イメージ)の網点、下段はDIC157をプロセス変換した網点の比較です。DIC157ベタと変換後のM100%Y95%で差はあまりなくても50%になると差が歴然とします。

**特色と分版色の差をなくすには?**  
Dr.Hagi: プロセスカラーに変換しても違いが少ない特色を選ぶことをお勧めします(DICの場合なら\*の色は避ける)。DICで\*が付いていない場合でも、公式の数値はあくまでもベタ部分の濃度に合わせた近似値をだしたもので、上述のように薄い部分では色の差がでてしまいます。弊社では独自に解析し、より近づけた形で色校をご確認していただくようにしています。

秋:「パントーンの色、使っていいですか?」  
先輩:「パントーンじゃねえ〜パントンだ!!!」  
秋:「すみません……(結局使っていいのかよ?)」  
そんな、昔を思い出し、今夜も特色にうなされるDr.Hagiでした。

MAP



お客様への新しい提案に邁進する永和印刷へ足を運んでみませんか? 弊社ではお客様の製造現場として、随時ご来社を歓迎しております。お気軽に担当営業員までどうぞ!

編集後記

クレームゼロを謳っても、掛け声だけでは意味がありませんので、昨年末から社内での品質管理について、部署を問わず全社員で対応策を協議することを始めました。集合写真を見ていただければおわかりのような小世帯なので、部署・社員間での連携を密にすることで、事故を防ぐだけでなく、より完成度の高い仕事をさせていただきます。今年も永和印刷をご愛顧いただきますようお願い申し上げます。

Prog  
Printing Professional Log by Eiwa

【エイワのブログ】

2013年1月7日発行 vol.15 2013 January

**永和印刷株式会社**  
〒112-0005 東京都文京区水道2-4-23  
TEL. 03-3813-5001 FAX.03-3813-5005  
E-mail(営業部) mail@eiwa-p.com  
(DTP事業部) dtp@eiwa-p.com  
<http://www.eiwa-p.com>

(KK) 次号は2013年4月1日発行予定です。

無料お試しキャンペーン申込書

時間がない方、コストが心配な方、ゲラの精度を上げたい方は  
今すぐお申し込みください!!

※キャンペーンにご使用いただく原稿枚数は10枚程度、図表2〜3点でお願いいたします。  
下記の中から希望する編集サービスに○をご記入いただき弊社宛にFAXを送信してください。  
お電話・E-mailからもお申し込み可能です。

- 素読み
- 赤字付き合わせ
- 原稿整理
- 文献チェック

貴社名

担当者氏名

ご連絡先

TEL 03-3813-5001  
FAX 03-3813-5005  
mail@eiwa-p.com

なお、永和印刷では印刷工場見学会、お見積り、営業員訪問についても随時受け付けておりますので、お気軽にご連絡ください。